

令和7年度 景気動向アンケート調査集計(R7年4月～6月)

1. 調査の概要

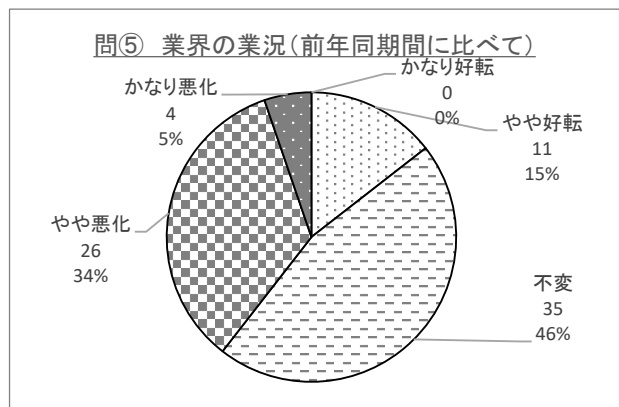
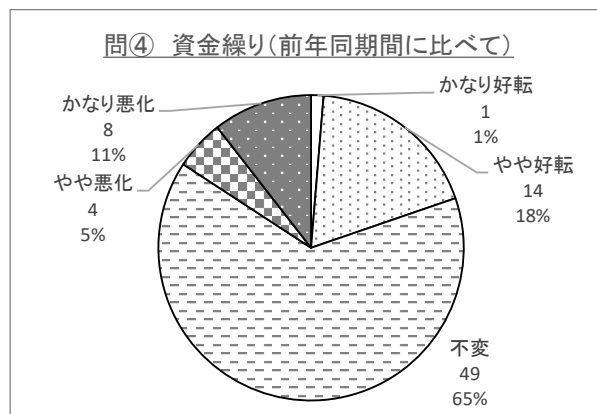
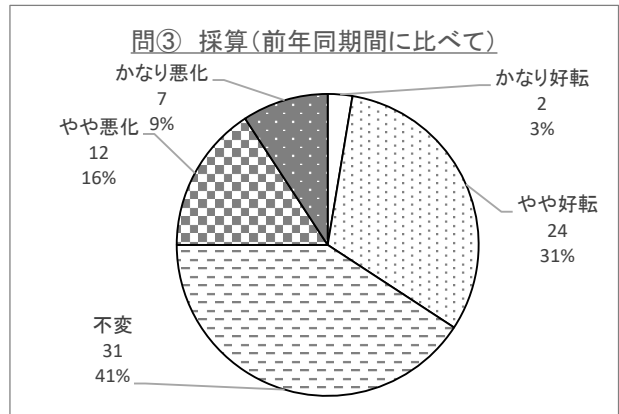
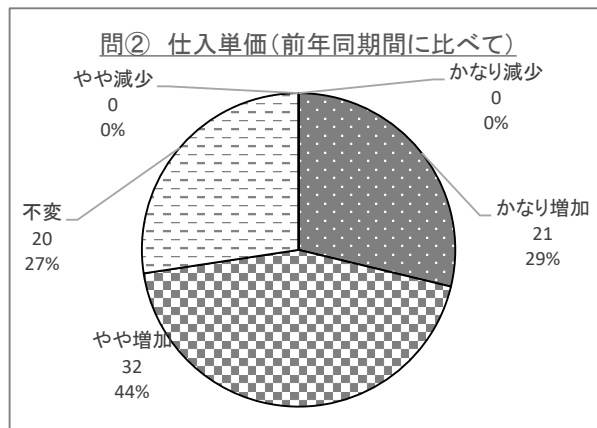
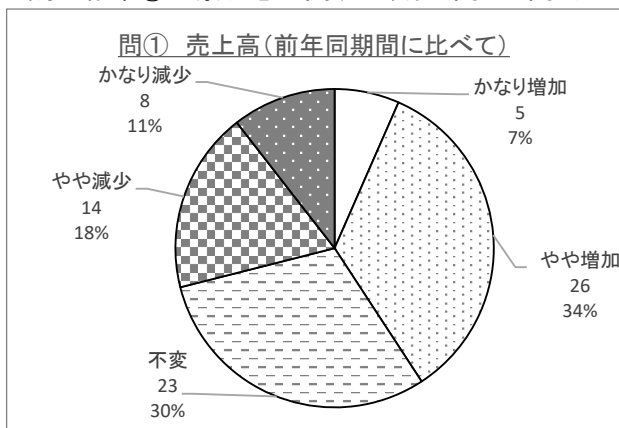
調査目的： 第3期春日市商工会経営発達支援計画（令和5年3月認定）に基づき、会員事業者の景気動向を調査し、地域中小企業の状況を的確に把握した効果的な経営支援を実施すること、また、地域ニーズに応じた地域活性化事業検討の参考とすることを目的とする。

調査方法： 連絡手段がメールとFAXで登録されている会員事業者を対象に調査を依頼。

実施期間： 令和7年7月29日～令和7年8月15日

回答数： 76事業者

2. 調査結果①…景況感に関する項目(問1～問5)



	かなり増加	やや増加	不変	やや減少	かなり減少	D.I
①売上高	5	26	23	14	8	12%
②仕入単価	21	32	20	0	0	73%

	かなり好転	やや好転	不変	やや悪化	かなり悪化	D.I
③採算	2	24	31	12	7	9%
④資金繰り	1	14	49	4	8	4%
⑤業界の業況	0	11	35	26	4	-25%

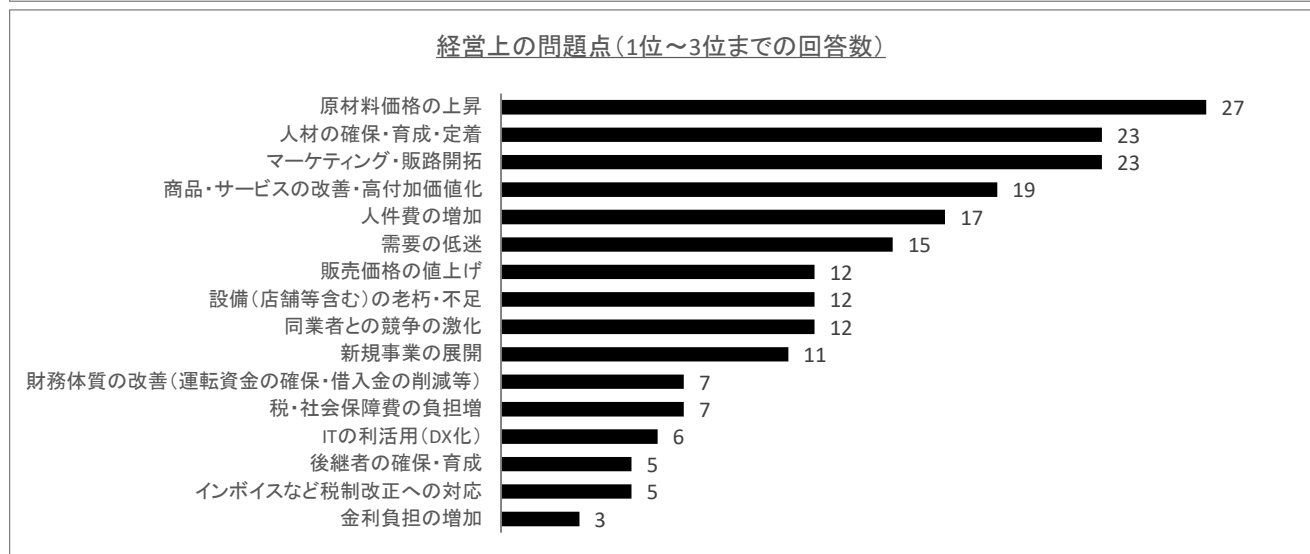
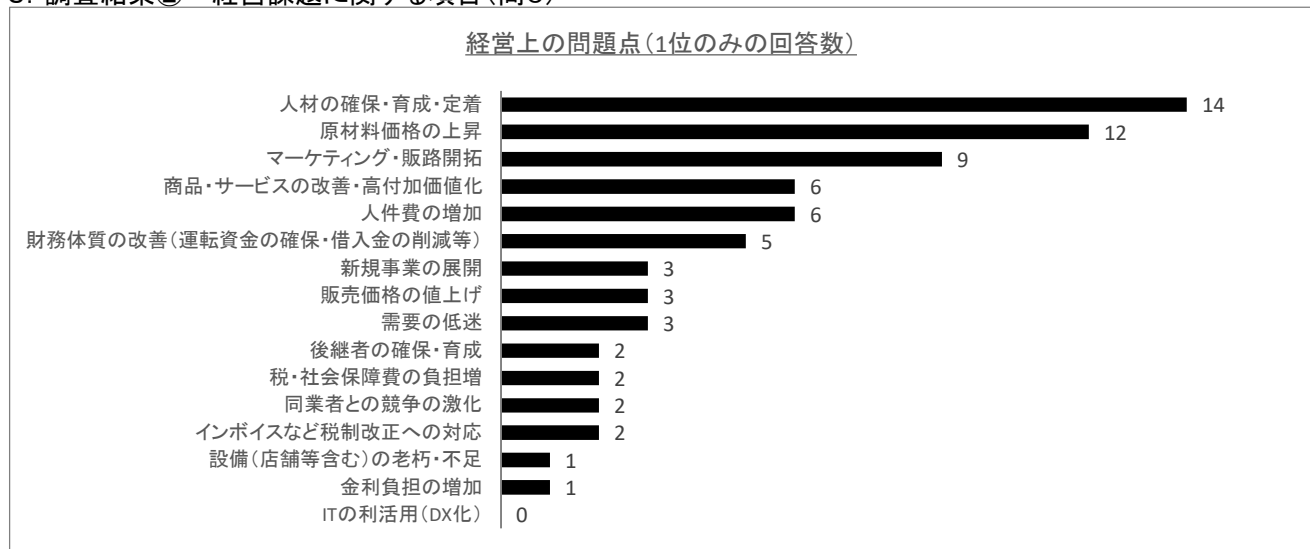
【D.I】

企業の業況感などの判断を指数化したもの。各設問につき5個の選択肢を用意し、選択肢毎の回答者数を集計し、全回答者数に対する構成比を算出した後、次式により算出する。

D.I=「選択肢(かなり増加)の構成比+選択肢(やや増加)の構成比」-「選択肢(やや減少)の構成比+選択肢(かなり減少)の構成比」

- 売上高について、前回調査結果では43%の事業者が増加したと回答していたが、今回は41%となり、-2ポイントとなった。D.I値は前回調査結果から+3ポイントとわずかに増加している。
- 仕入単価は前回調査結果で増加割合が約78%であったのに対し、今回は約73%とわずかに減少傾向はあるものの依然として高水準。多くの事業者が仕入コスト増大に直面している状況は変わらない。
- 採算については、前回調査結果ではD.I値(-4%)で厳しい状況が続いていたが、今回は9%とプラスに転じている。好転していると感じる事業者の割合が若干増加しており、収益面ではわずかな改善傾向がみられるが、悪化と回答する事業者も依然多い状況に変わりない。
- 業界の業況に関しては、前回調査結果でのD.I値が-11%であったのに対し、今回はさらに悪化し-25%となった。業界全体における景気の厳しさが一段と増しているという厳しい実態が浮き彫りとなっている。

3. 調査結果②…経営課題に関する項目(問6)



- ☒ 今回も「人材の確保・育成・定着」が最も多く選ばれている経営上の問題点となっている。このことは、人材関連の課題が引き続き企業経営の最重要課題として顕在化していることを示している。加えて、「原材料価格の上昇」も大きく増加しており、コスト面の課題も一層深刻になってきていることが窺える。
- ☒ 前回調査結果と比較すると「人材の確保・育成・定着」「原材料価格の上昇」「マーケティング・販路開拓」といった課題の回答数が全体的に増加している。特に「原材料価格の上昇」が顕著に増え、経営を圧迫する要因として存在感を強めている。加えて「財務体質の改善」や「設備の老朽・不足」といった基盤強化の課題も依然として重視されている。